

TKCからのお知らせ

これまでS X 2で納品書・請求書の発行の都度、印刷フォームを変更していた場合のご注意（お願い）

これまでS X 2では、納品書等の発行にあたり、事前に得意先ごとに設定した印刷フォームで発行するか、発行の都度 [様式選択] ボタンで選択した印刷フォームで発行するか選択することが可能でした。

しかしながら、インボイス制度への対応に伴い、[2022年11月版]において、事前に得意先ごとに設定した印刷フォームで発行する方法に統一しました。つきましては、これまで納品書等の発行の都度、印刷フォームを選択していた場合は、以下のご注意に従って、設定の見直しをお願いいたします。

1. これまで納品書・請求書の発行の都度、印刷フォームを選択していた場合のご注意（お願い）

納品書等の発行前に、次のいずれかの方法により、納品書、請求書の印刷フォームの設定の確認及び変更をお願いします。なお、得意先ごとに印刷フォームが決まっている場合は、当作業を一度実施すると、以降の印刷フォーム変更は不要です。

(1) 個別の得意先について変更する場合

「基本情報」タブの「得意先の確認・登録・削除」メニューを選択します。

「売上・請求1」タブ - 「印刷フォーム」欄で、印刷フォームを設定します()。

() 「売上インボイスとする書類」の設定により、ご希望の印刷フォームを設定できない場合があります。

(2) 複数の得意先をまとめて変更する場合

「基本情報」タブの「印刷フォームの設定」メニューを選択します。

「印刷フォーム」欄で、変更後の印刷フォームを選択します。

[F5 一覧] ボタンをクリックし、印刷フォームを変更する得意先を選択します（複数選択可能です）。

[F4 選択終了] ボタンをクリックします()。

() 「売上インボイスとする書類」の設定により、「印刷フォーム」欄の印刷フォームを選択できない得意先は、一覧に表示されません。

< 印刷フォームの設定画面 >

コード	得意先名	営業所名	電話番号	FAX番号
000001	株式会社 岡野企画		03-0000-0000	03-0000-0000
000002	株式会社 伊勢企画		03-0000-0000	03-0000-0000
000003	株式会社 中村商会		048-000-0000	018-000-0000
000004	株式会社 宮田製作		047-000-0000	047-000-0000
000005	浅田サービス 株式会社		046-000-0000	046-000-0000
000006	株式会社 PJサプライ		029-000-0000	029-000-0000
000007	小早川アイデア 株式会社		028-000-0000	028-000-0000
000008	株式会社 大洋社		027-000-0000	027-000-0000
000009	株式会社 トラスト商会		055-000-0000	055-000-0000
000011	株式会社 岡野企画 大阪営業所		06-0000-0000	06-0000-0000
000012	白鳥商事 株式会社		022-000-0000	022-000-0000
000013	北海オーロラ商事 株式会社		011-000-0000	011-000-0000
000014	株式会社 数寄家		03-0000-0000	03-0000-0000
000015	株式会社 ドロン・シャボン社		03-0000-0000	03-0000-0000

2 . S X 2 [2022年11月版]での改訂の背景

- (1) S X 2 では、「基本情報」タブの「得意先の確認・登録・削除」メニューで得意先ごとに納品書等の印刷フォームを設定できます。[2022年07月版]以前の版数では「自社に従う」が選択でき、当該設定の得意先については、「システム標準の印刷フォーム」()で納品書等が発行されておりました。
() 「売上・請求」タブの「納品書様式選択」や「請求書様式選択」の「印刷フォーム」タブで、最後に選択した印刷フォーム。
- (2) [2022年11月版]において、インボイス制度へ対応するため、得意先情報に「売上インボイスとする書類」の設定を追加しました。
また、「売上インボイスとする書類」の設定によって選択できる印刷フォームを限定し、正しい組合せで利用できるようにしました。これに伴い、納品書等の印刷フォームでの「自社に従う」を廃止し、それを選択していた得意先については、[2022年11月版]へのレベルアップ時に、「システム標準の印刷フォーム」の設定値を得意先ごとの印刷フォームとしてコンバートしました。
- (3) 「自社に従う」の廃止に伴い、「納品書様式選択」等の「印刷フォーム」タブで、最後に選択した印刷フォームを「システム標準の印刷フォーム」とする処理を廃止しました。

以上